

はじめに

クマタカは、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づく「国内希少野生動植物種」に指定されているほか、国や県のレッドデータブックにも掲載されている希少な鳥です。生態系の頂点に立つ猛禽類は、各種開発の影響を受けやすく、山地部を中心に生息するクマタカの場合は、林業との調和や大規模事業との調整が重要な課題となっております。

環境庁では、平成8年8月に「猛禽類保護の進め方」を発行して、猛禽類保護の現状と保護対策の基本方向を示すとともに、特にイヌワシ・クマタカ・オオタカについて、保護するうえでの必要な事項を示しました。これを受けまして、本県では、平成11年3月に「オオタカとの共生を目指して（埼玉県オオタカ等保護指針）」を発行して、猛禽類保護の考え方をまとめるとともに、特にオオタカ保護対策についての手引き書として取りまとめたところです。

今年度は、これらを踏まえまして、さらに調査、検討を行い、クマタカ保護対策の手引き書として本書を作成しました。いわば埼玉県オオタカ等保護指針のクマタカ編と位置づけられるものです。

ただし、具体的な開発計画に対しては、個別に詳細な調査を実施してから判断しなければならぬので、あくまで本書は、一つの目安として考えていただくことが必要です。クマタカの生息できる山地の森林生態系を守り、生物多様性に富んだ優れた自然環境を将来にわたって保全していくことは、「環境優先・生活重視」の県政基本理念に基づく取り組みであり、そのための手引き書として本書が役立てば幸いです。

本書の作成にあたっては、昨年度に引き続き「埼玉県オオタカ等保護指針検討委員会」を開催し、下記の委員の方々に検討していただきました。心より感謝申し上げます。

埼玉県オオタカ等保護指針検討委員会委員

座長 石原 勝敏 埼玉大学名誉教授
葉山 嘉一 日本大学生物資源科学部・専任講師
笹川 昭雄 (財)山階鳥類研究所・元所員
池谷 奉文 (財)埼玉県生態系保護協会会長
杉田 勝彦 埼玉県環境生活部自然保護課長

なお、本書のとりまとめに際しては、(財)埼玉県生態系保護協会に情報収集・整理等を委託しました。